

## 事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109108h0003  
研究開発課題名 : 好酸球性消化管疾患の原因食物特定のための検査法の開発  
研究代表機関名 : 国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所  
研究開発代表者名 : 松本健治

評価委員会のコメント :

### ○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

便検査という非侵襲的な手法での診断的有用性について一定の評価ができる結果が得られている。  
便中 EDN を用いた EGID の病勢の評価は血便症例で達成できた

### ○疑問点、改善すべき点、その他助言等

若年患者の末梢血採取について、同意取得の困難さもあるのではないかと考えられる。  
主要な研究目的である食物蛋白を使用したリンパ球刺激試験による好酸球性消化管疾患の原因食物の  
同定については、道半ばで進展の見込みは不明。  
ステップ0として求められる非臨床 POC の確立と試験物の規格決定には至っていない。

以上